

令和元年度 立山町社会福祉協議会事業報告

少子高齢化、核家族化及び人口減少が進展する現在の日本では、高齢者・障がい者・子育て家庭・生活困窮者など誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるように2025年に向けて、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保されることが求められています。

高齢者福祉サービスは、2015年（平成27年）の介護保険法改正において、この「地域包括システムの構築」と「費用負担の公平化」が柱となりました。なかでも、全国一律の予防給付（訪問介護・通所介護）を、団塊世代がすべて後期高齢者となる2025年度末までに地域支援事業へ移行することは、現行サービスの受け皿となる事業が存在しないと移行自体が困難となってしまいます。このほかにも、社会福祉分野では社会福祉法をはじめとしてさまざまな制度改正がなされており、環境はめまぐるしく変化しています。

このような状況の中、新たに策定した第3次立山町地域福祉活動計画に基づき、“誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指し”町の「立山町地域福祉計画」との連携を図りながら、地域福祉の拠点として高齢福祉、障害者福祉、児童福祉それぞれの分野において、事業を進めて来しました。

また、新たに基本目標に加わった「地域福祉活動を推進するための組織強化」の成果として、「立山町社会福祉法人連絡会」を発足いたしました。今後は社会福祉法人間の連携をより強化し、協働による地域公益活動を進めてまいります。

このほか、当協議会においては、地域の福祉力の底上げを目指し、「ふれあい活動事業」と「ケアネット事業」を総合的に取り入れ、高齢者から子育てまで幅広く、互いに協力しながら住みよいまちづくりを進めて来しました。

また、地域の福祉力向上の一手段であるボランティア活動の推進を図るため、情報の発信に努めると共に、将来を担う子ども達の福祉理解を広めて福祉教育を推進するため、その一端を担う「福祉教育サポーター」の養成確保に努めてまいります。

平成24年6月4日に元気交流ステーションに移転後は、地域住民の活動拠点として町民の多様な福祉ニーズを的確にとらえ、互いに自立し、関係機関との連携や協働を密にして、① 地域福祉活動推進 ② 在宅福祉サービスの推進 ③ 総合的な相談援助 ④ ボランティア活動の推進 ⑤ 福祉教育の推進 ⑥ 高齢者福祉事業の推進 ⑦ 日常生活自立支援事業の推進 ⑧ 出逢い応援事業、を事業目標に掲げ積極的に展開してきました。

なお、主な事業等の取組みについては、次のとおりです。

1. 法人運営事業・その他の事業

(1) 法人運営、役員活動事業

5月	30年度会計監査	5月 9日	元気交流ステーション
5月	理事会	5月24日	〃
5月	評議員選任・解任委員会	5月27日	文書審議
6月	評議員会	6月13日	元気交流ステーション
6月	理事会	6月20日	〃
8月	理事会	8月30日	〃
9月	評議員選任・解任委員会	9月 9日	文書審議
12月	理事会	12月10日	元気交流ステーション

1 2月	評議員会	1 2月 1 8日	元気交流ステーション
3月	理事会	3月 1 6日	〃
3月	評議員会	3月 2 3日	〃
3月	評議員選任・解任委員会	3月 2 3日	文書審議

(2) 共同募金活動、日赤事業、立山善意銀行事務、町遺族会事務

(3) 社会福祉協議会ホームページの開設、運営
ページビュー数 3, 7 6 5回

2. 企画広報事業

令和元年度立山町社会福祉協議会表彰式において、これまで福祉の推進に功績のあった方々と団体の表彰式を開催し、より多くの町民が福祉について考える機会とした。また、記念講演会を開催し、ボランティアや福祉活動に関する理解促進を図った。

立山町社会福祉協議会表彰 1 1月 9日 元気交流ステーション 社会福祉事業功労 2 1名
記念講演会「演題「互近助力でふだんのしあわせづくり」

講師 金城学園金城大学社会福祉学部 教授 内 慶瑞 氏

3. 地域福祉推進事業

(1) 地域総合福祉推進事業（ふれあい型・ケアネット型）への助成、活動強化に努めた。

- ・第1回 地区社協会長・事務局長会議 4月 2 4日 元気交流ステーション
- ・第2回 地区社協会長・事務局長会議 7月 2 3日 〃
- ・第3回 地区社協会長・事務局長会議 1 0月 1 5日 〃
- ・第4回 地区社協会長・事務局長会議 2月 4日 〃
- ・ケアネット事業活動実績

R元年度：実施地区数 1 0地区 援助対象者 1 4 2名 活動参加者数 2 6 2名
訪問等活動延べ回数 1 1, 0 3 3回

※H 3 0年度：実施地区数 1 0地区 援助対象者 1 5 9名 活動参加者数 2 9 6名
訪問等活動延べ回数 1 1, 0 0 6回

(2) ケアネットセンター運営事業

- ・実施地区検討会・報告会等参加 2 4回

- ・立山町ケアネット活動全体検討会 7月 5日～6日 滑川市・黒部市

県内先進地のケアネット活動等の取り組みを地区社協及びボランティアサポーターを対象に学ぶ。

テーマ：誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまひづくりを間座して

助言講師：金城大学 社会福祉学部 教授 内 慶瑞 氏 参加者 1 9名

- ・町内居宅介護支援事業所連絡会ケース検討会出席 1 4回

- ・個別ケースの相談や会議への出席・開催 1 2回

(3) 福祉人材育成・支援事業

ふれあい活動員（福祉協力員）を 6 1名配置し、サロン活動やケアネット活動への実施・協力を行った。

- ・第1回ふれあい活動員等合同研修会（心配ごと相談員等との合同）

4月26日 元気交流ステーション 参加者44名

テーマ：地域ぐるみによる問題発見から専門的な支援への仕組みづくりへ

講義：「地域ぐるみの支援～弁護士も地域の一員～専門的支援の使い方」

講師：富山中央法律事務所 弁護士 西山 貞義氏

- ・第2回ふれあい活動員研修会（まちづくり研修会との合同）

3月11日 元気交流ステーション 参加者43名

講義：「リノベーションの可能性 まちの財産を発掘・ヒトづくり・まちづくり」

講師：グリーンノートレーベル（株） / （株）コンシヨク 代表取締役 明石 博之氏

各地区のふれあいいいききサロン運営者・協力者を対象に連絡研修会を行った。

- ・ふれあいいいききサロンリーダー研修会

6月20日 元気交流ステーション 参加者10名

「今すぐサロン活動に活かせるメニュー提案！」

各地区の子育てサロン運営者・協力者を対象に連絡会を行った。

- ・子育てサロンリーダー連絡会

11月15日 町立釜ヶ淵公民館 参加者53名

「釜ヶ淵地区子育てサロン見学&情報交換会」

参加者34名

（4）住民参加型地域福祉事業

- ・地区社協を中心にふれあいいいききサロンランチを開設し、高齢者の生きがいや社会参加意欲を高めた。

ふれあいいいききサロンランチ 令和元年度：延べ560回 参加者延べ11,248名

※平成30年度：延べ549回 参加者延べ11,201名

- ・地区社協単位で子育てサロンを開設し、主に未就所（園）児と家族を対象に、子育て期の不安解消や情報交換など子育て支援を行った。

子育てサロン 令和元年度：延べ77回 参加者延べ2,484名

※平成30年度：延べ78回 参加者延べ2,735名

（5）地域福祉活動計画の推進及び策定

- ・2018年度～2022年度の5カ年を計画期間とする第3次地域福祉活動計画の推進委員会を設置し、事業の点検・評価を行う仕組みを検討した。

平成30年度：事務局内検討会（月1回）

地域福祉活動計画推進委員会 5月24日 元気交流ステーション 参加者11名

（6）ふれあい総合相談事業の実施

弁護士等の専門相談、民生委員児童委員による心配ごと相談等の一般相談を実施した。また、事務局職員が相談援助を随時行った。町広報や社協だより「そよかぜ」に相談センターの相談日を掲載し広報に努めた。

心配ごと相談員及び職員を対象に研修会を開催した。

- ・第1回心配ごと相談員研修会 4月26日 元気交流ステーション 参加者10名

（内容はふれあい活動員等研修会と合同開催）

- ・第2回心配ごと相談員研修会 12月6日 元気交流ステーション 参加者12名

心配ごと相談人委嘱・2020年度ふれあい総合相談センター開設計画等

講義：「思いを受けとめる相談員の心得」

講師：富山県社会福祉協議会 地域福祉ボランティア振興課 課長 水井 勲氏

相談件数 法律相談 38件 心配ごと相談 8件 職員対応相談 21件

(7) 地域公益活動への支援

町内の法人相互間の連携及び各法人それぞれがもつサービスとの連携等により、地域への貢献活動を推進するため、立山町社会福祉法人連絡会を設立した。情報や課題を共有化し、協働による活動を積極的に行った。

・法人連絡会企画会議の開催 3回

・福祉教育の推進（体験受け入れ）と災害時の支援体制整備（町防災訓練参加）

・シンポジウムの開催 2月14日 町立公民館 参加者70名

基調講演：「町の福祉を良くするために～社会福祉法人が手を繋ぐ必要性と意義について」

富山大学 人間発達科学部 准教授 野田 秀孝氏

事例報告：「立山町社会福祉法人連絡会の取り組みについて」

シンポジウム：「協働による地域公益活動の推進を目指して～求められる社会福祉法人のあり方を考える～」

4. 助成事業

社会福祉団体等5団体に活動費の助成を行った。

5. 在宅福祉サービス推進事業

(1) 高齢者外出支援サービスの実施

要介護認定を受けている高齢者の方で、在宅で日常的に車椅子を使用している方を対象に通院等の外出支援を行った。

登録者数 2名 利用延べ日数 3日 利用延べ回数 3回

6. ボランティア活動事業

(1) ボランティアコーディネーター設置事業 ボランティアセンター相談件数 485件

(2) ボランティア活性化事業

ボランティアに関する情報を社協だより「そよかぜ」の紙面や町内数か所に設置した掲示板で紹介した。また、ボランティアセンター運営委員を委嘱し、運営委員会を開催することで、事業運営の推進を図った。

(3) 調査研究事業

地域で予測される課題への対応を探るため、調査研究事業を実施した。県内先進地の視察をとおして地域の支え合い活動（ケアネット活動やこども食堂等）について学ぶ機会とした。

・県内先進地視察研修会

7月5日・6日 滑川市・黒部市

(立山町ケアネット活動全体検討会と合同開催)

参加者19名

(4) 養成研修事業 - ボランティアリーダー研修会・ボランティア養成講座・脳トレ研修会-

ボランティアリーダー等の交流・育成を目的にした研修会や講座を実施した。

第1回 ボランティアリーダー研修会 9月9日 元気交流ステーション

「ボランティアは地域の力！」～団体・グループの主体的な活動を目指して 参加者35名

講師 特別非営利法人明日育 副代表

NPO法人 日本NPOセンター 常務理事 田尻佳史氏

第1回 ボランティア養成講座 11月26日 元気交流ステーション

「精神・知的障がい者等を抱える方への関わり方について」 参加者15名

講師 NPO法人 知的障害者のくらしを考える会 理事長 中島代志美氏

第2回 ボランティア養成講座 12月5日 元気交流ステーション

体験「施設でのボランティア体験」ケアホーム陽風の里 参加者10名

第3回 ボランティア養成講座 12月18日 元気交流ステーション

「あなたの活動を広げるボランティア講座」 参加者18名

講師 富山短期大学 健康福祉学科 教授 関 好博氏

第1回 脳トレ研修会 2月25日 元気交流ステーション

「脳トレについて学ぼう」 参加者57名

講師 富山短期大学 食物栄養学科 脳機能解析学 教授 田淵英一氏

(5) ボランティアサポーター設置事業

ボランティアサポーターを9名配置し地域でのボランティア活動情報の提供等を行った。また、連絡会を開催し、情報交換や各地域でのニーズを持ち寄り検討した。その他、福祉人材育成の視点から、子どもボランティア体験学習会等への参加協力も行った。

第1回 ボランティアサポーター連絡会 5月21日 町元気交流ステーション 参加者8名

第2回 ボランティアサポーター連絡会 2月21日 町元気交流ステーション 参加者8名

※その他、随時打ち合わせ等を実施

(6) 広報啓発事業

ボランティア活動の啓発・推進を図るため、ボランティアまつりを開催した。ボランティア団体の紹介・活動披露・ボランティア体験コーナー等を行った。

ボランティアまつり 10月26日 町元気交流ステーション 参加者約191名

(7) 児童・生徒のボランティア活動普及事業

推進校8校（小学校6校、中学校1校、高校1校）に活動費助成を行った。

(8) 福祉教育地域指定推進事業

「心に寄り添うボランティアについて考えてみよう」というテーマに基づき、ボランティア団体や高校・放課後児童クラブと連携し、町内の小学生を対象に子どもボランティア体験学習会を実施した。また、保育関係者・教育関係者・ボランティアを対象に福祉教育推進セミナーを開催した。

・子どもボランティア体験学習会

第1回 「お年寄りとの交流活動」

交流活動に向けた事前学習会 5月31日 立山北部小学校 36名

お年寄りとの交流活動 7月28日 竜ヶ浜荘デイサービスセンター 37名

第2回 「障害者との交流活動～音楽演奏を通して～」

8月5日 一般児童 8名

第3回 「ボランティアを体験しよう～シーツ交換活動体験～」

8月6日 老人保健施設ケアホーム陽風の里 12名

・福祉教育推進セミナー

第1回 福祉教育推進セミナー 6月4日 元気交流ステーション 12名

講師：富山国際学園 富山国際大学 教授 村上 満 氏

第2回 福祉教育推進セミナー（報告会） 2月21日 元気交流ステーション 42名

報告：立山小学校・雄山中学校・立山町ボランティアセンター

講師：富山国際学園 富山国際大学 教授 村上 満 氏

(9) 災害救援ボランティア活動支援事業

研修会を通して、緊急時の災害救援ボランティアセンターの役割を再認識する。

・災害救援ボランティア研修会

<講義>「地域と災害」<演習>「災害時の暮らし」

2月19日 元気交流ステーション 参加者44名

講師：特定非営利活動法人 にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李 仁鉄 氏

・町総合防災訓練

10月26日 利田小学校 参加者15名

(立山町社会福祉法人連絡会と協働で実施)

(10) 福祉教育サポーター養成確保事業

町づくりや福祉教育の推進を図ることを目的に、福祉教育サポーターの養成研修会を開催した。また、サポーターの養成に向けて委員会を設置・委員13名を委嘱し、検討を図った。

・福祉教育サポーター設置検討委員会

第1回 委員委嘱・現況確認 10月21日 12名参加

第2回 事業報告・次年度計画説明 3月9日 12名参加

・福祉教育サポーター養成確保事業

第1回 立山町社会福祉協議会表彰記念講演会（合同開催） 11月9日 参加者50名

第2回 福祉教育の意義と福祉教育サポーターの役割 11月20日 参加者16名

講師 富山県社会福祉協議会 ボランティア地域福祉振興課 課長 水井 勤氏

第3回 ふれあい食堂あり方検討会（合同開催） 2月3日 参加者16名

富山国際学園富山国際大学 子ども育成学部 教授 村上 満 氏

第4回 第2回福祉教育推進セミナー（合同開催） 2月21日 参加者14名

富山国際学園富山国際大学 子ども育成学部 教授 村上 満 氏

第5回 町づくり研修会（合同研修会） 3月11日 参加者5名

グリーンノートレーベル（株）/（株）コンショク 代表取締役 明石 博之氏

7. 居宅介護支援事業

ケアマネジャーによる適切なケアプランの作成、介護給付費の管理

要介護1～5	月平均利用者数	114名
介護予防	月平均利用者数	17名

8. 居宅介護等事業（ホームヘルプサービス）

(1) 要介護認定者への訪問介護	要介護1～5	利用時間	1,658時間	月平均利用者	19名
	総合	利用時間	1,293時間	月平均利用者	24名
(2) 障害者への訪問介護	身体障害者	利用時間	148時間	月平均利用者	12.7名
	知的障害者	利用時間	287時間	月平均利用者	23.9名
	精神障害者	利用時間	543時間	月平均利用者	43名
(3) 自立支援サービス		利用時間	26.5時間	月平均利用者	1.1名

9. 日常生活自立支援事業

自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方やお金の管理に困っている方などを対象に本人や関係機関の相談に専門員が応じた。

判断能力等の低下により本事業の利用が適している方とは契約し、金銭管理等のため生活支援員が訪問し、援助を行った。

利用者 5名 生活支援員登録者 6名 制度利用等相談件数 25件

10. 高齢者福祉推進事業

(1) みらいぶくつろぎサロン運営事業

元気交流ステーションに集約されている保健福祉総合機能を活かした誰もが集える常設型のサロンとして、引きこもりの防止や介護予防に関する活動を取り入れたメニューの提案、健康器具等の設置、教養講話やボランティアグループ等の活動披露、季節行事等を通して、積極的な社会参加、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりの一助となる機会を提供した。

元気交流ステーション2階大広間 サロン開催日数 195日

ボランティアグループ活動披露数 72回

季節の行事 4回（5周年記念イベント・夏祭り・感謝祭・おひな祭り）

延べ利用者数 6,053名

(2) 福祉バスを運行し、くつろぎサロンへの送迎及び福祉団体、地区社会福祉協議会等の諸行事の送迎を行った。

運行回数 延べ 205回（くつろぎサロン送迎運行回数 108回）

利用者数 延べ 2,909名

11. 基金運営事業

(1) 社会福祉事業振興基金の管理、運営

(2) ボランティア基金の管理、運営

1.2. 共同募金配分事業

(1) ふれあいいいききサロンランチ活性化事業

高齢者ふれあいいいききサロン、子育てサロン等に対して講師の派遣を行った。

講師：ハートビートライフ・オカ インストラクター他

延べ48回派遣

(2) 住民支え合いマップづくり事業

住民同士のふれあいや支え合い活動を地図上に可視化するマップ作り及びその活用研修会を開催し、地域住民の支え合いの実績や生活上の問題を具体的に把握し、共助の仕組みを検討した。

・住民支え合いマップ入門講座

講師：立山町社協職員

支え合いマップづくり 11月7日 泊伸集落公民館 20名

・支え合いマップづくりとその活用研修会

講師：NPO 法人明日育 常務理事 長井 一浩 氏

10月31日 五百石公民館 26名

・まちづくり研修会～リノベーションの可能性 まちの財産を発掘・ヒトづくり・まちづくり～
(第2回ふれあい活動員合同研修会と合同開催)

講師：グリーンノートレーベル(株) / (株) コンショク 代表取締役 明石 博之 氏

3月11日 元気交流ステーション 43名

(3) 社会福祉協議会だより「そよかぜ」の発行

年6回(奇数月) 全世帯配布

(4) 地域福祉・ボランティア活用啓発事業

地域福祉・ボランティアに関する広報パンフレットを作成し、啓発活動に活用した。

(5) ふれあい食堂運営事業(前こども食堂運営事業)

多世代交流促進、居場所づくりを目的に町内10地区社会福祉協議会と連携して、試験的に開催した。また、立山町でのより良い運営の在り方について検討する機会を持った。

・ふれあい食堂運営事業(※スタッフ等の人数を含む)

大森地区 大森公民館 7月7日 約129名 立山地区 岩嶺公民館 7月20日 約88名

町社協・五百石地区 みらいぶ 7月27日 約160名 利田地区 利田公民館 7月30日 約139名

釜ヶ淵地区 釜ヶ淵公民館 8月1日 約135名 東谷地区 谷口公民館 8月2日 約50名

下段地区 下段公民館 8月3日 約125名 上段地区 ゆいばる 8月25日 約90名

高野地区 高野公民館 10月12日 約90名 新川地区 新川公民館 12月25日 約66名

・ふれあい食堂あり方検討会 2月3日 元気交流ステーション 55名

(6) 地域歳末たすけあい助成事業

町内10地区社会福祉協議会へ助成し、歳末時期に合わせて、見守り訪問や3世代交流等の推進を図った。

1.3. 生活福祉資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

低所得者等へ生活福祉資金等の貸付・相談を行った。

取扱件数 9件 制度利用相談件数 19件 継続相談件数 61件

(2) 生活困窮者自立促進支援事業

富山県東部生活自立支援センターと連携して、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者（生活困窮者）に対し支援を行った。

町報や社協だより「そよかぜ」に相談日を掲載し広報に努めた。

事業利用件数 12件

14. 出逢い応援事業

サポートセンター「おむすびくらぶ」を設置し、結婚相談や情報交換を通して出逢いの場を提供し、結婚への支援を行った。

・センター運営体制

推進委員16名 支援員28名（プランナー10名・アドバイザー11名・サポーター7名）

センター長1名（社協事務局長兼任） コーディネーター1名（社協職員兼務）

登録会員163名（内訳：男性103名・女性60名：3月31日現在）

※推進委員会の設置 円滑な運営と効果的な事業推進を図るために設置

立山町内で活躍する企業や団体、支援機関、学識経験者及びその他会長が必要と認めた者で組織し、立山町社会福祉協議会会長が委嘱する。

※支援員は、地域活動に参加している者で、結婚

への支援及び地域の担い手育成に理解と関心

を持ち、その役割遂行に支障のない者を、立山町社会福祉協議会会長が委嘱するものである。

・結婚相談日の開設

アドバイザーによる結婚相談を第2・4木曜日午後、第1・3土曜日午前、第1・3木曜日夜、第2・4火曜日夜に開設し、登録会員への結婚相談等に応じる。

元気交流ステーション相談室 相談件数 62件 マッチング46件

・成婚カップル 1組（累計6組）

・推進委員会の開催 関係機関への広報啓発及びセンターへの指導助言

第1回推進委員会 5月29日 元気交流ステーション 参加者12名

第2回推進委員会（報告） 2月27日 元気交流ステーション 参加者10名

・支援員研修会及び情報交換会の開催 結婚支援に対する必要な研修（婚活支援についての情報セキュリティ、コミュニケーション等）を開催し、支援員の資質向上を図り、支援員間の情報共有の場を提供

第1回全体研修会 5月29日 元気交流ステーション 参加者27名

第1回情報交換会 5月29日 元気交流ステーション 参加者24名

第2回支援員情報交換会 8月19日 元気交流ステーション 参加者20名

第1回支援員研修会 8月19日 元気交流ステーション 参加者18名

第3回支援員情報交換会 10月28日 元気交流ステーション 参加者19名

第2回支援員研修会 12月17日 元気交流ステーション 参加者20名

第4回支援員情報交換会 1月11日 元気交流ステーション 参加者20名

第5回支援員情報交換会 2月27日 元気交流ステーション 参加者21名

第2回全体研修会 3月11日 元気交流ステーション 参加者15名

(まちづくり研修会と合同開催)

・事業啓発イベントの開催

春イベント	アルプスエクスプレス号で行こう！春色トリップ アルプスエクスプレス号内・立山駅周辺	4月6日	参加者58名
夏イベント	立山産米粉でパン作り 元気交流ステーション	6月23日	参加者39名
秋イベント	お月見&カクテルパーティ 元気交流ステーション	9月28日	参加者43名
冬イベント	素敵なお隠れ家でちょっと早いクリスマスパーティ 森の茶屋糧（利田地区）	11月30日	参加者39名